

Matrix products in integrable probability

国場敦夫 (東京大学 大学院総合文化研究科)

おそらく 1994 年, 居室が未だ駒場 3 号館にあった頃, 数理の加藤晃史さん, 物理教室同僚の鈴木淳史さん (現 静岡大) が Derrida-Evans-Hakim-Pasquier の行列積の論文 (1993) を持って来て紹介していただく機会がありました. 今から思うと integrable probability との縁はその時からのもので, 四半世紀近くにもなります. その間主に probability ではない方の integrable に携わってきましたが, 2 年前に改めて眺めた Ferrari-Martin アルゴリズムをきっかけに今回講演の話に彷徨い込み直しました. DEHP 論文は今では Google Scholar で引用 1000 超ですが, 出版間もない時期に注目していたお二人の慧眼に感服する次第です. 当時折角のセミナーを早々にリタイアしてしまい, 漸く 23 年遅れのレポートを提出している様に感じています.